

令和5年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びを実現するための授業改善の工夫」 羽生市教育委員会・羽生市立羽生北小学校・羽生市立須影小学校

「個別最適な学び」を目指した取組事例

羽生市教育委員会の取組

○埼玉県学力・学習状況調査の分析シートの作成・活用

埼玉県学力・学習状況調査分析シート

個別最適な学びを推進するためには、教師による根拠に基づいた児童生徒理解が不可欠である。そこで羽生市では、全学校において今年度より埼玉県学力・学習状況調査の個票を基にした「埼玉県学力・学習状況調査分析シート」を作成し、活用を図っている。

学年	教科	単元	平均	標準	偏差	順位	学力	学習	
6年	算数	角柱・円柱の体積	42.3	38.3	37.7	41	40	3.6	3.0
6年	国語	読者の心	40	38	37	41	40	3.6	3.0
6年	英語	基礎	40	38	35	33	40	3.4	3.1
6年	理科	基礎	40	38	34	33	40	3.5	3.1
6年	社会	基礎	38	35	30	47	44	3.8	3.5

埼玉県学力・学習状況調査の結果から、担任が気になる児童生徒を抽出する。該当者の帳票40の該当部分を分析シートに張り付け、学校の様子・家庭地域での様子・解答傾向・今後の取組等について記入する。作成したシートは、校内研修等で共有し、学校全体で個に応じた指導の仕方を共有できるようにしている。

事例1

羽生市立羽生北小学校の取組

○学年 6学年

○教科名 算数

○単元名 「角柱や円柱の体積」

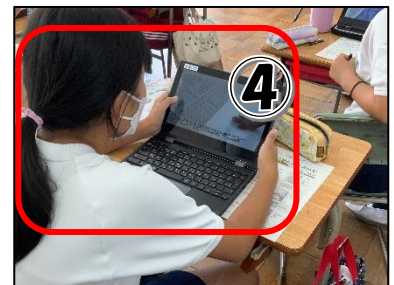
○身に付けたい力 自分の学力を把握した上で、自己調整して学習する力

○個別最適な学びへ向けた工夫

- 単元の最後に確認問題として、教科書の「しあげ」問題を行う。本校6学年児童は、学力差が大きかった。そこで、自分の習熟度に合わせて、学習法を自分で選択して学習を進められるようにした。①個人で「e-ライブラリー」などを活用して様々な問題を解く。②少人数グループでできなかった問題をタブレットや教科書を参考にしつつ対話を通して解き直す。③適宜先生や友達に聞いてできるだけ自分で解く。④動画サイトを活用して個人で問題の解き方を学ぶ。これらの4つの方法から自分で選択し、自己調整して前向きに取り組めるようにした。



様々な学習形態で学ぶ児童



動画を視聴しながら学ぶ児童

事例2

羽生市立須影小学校の取組

○学年 6学年

○教科名 体育

○単元名 跳び箱運動

○身に付けたい力

- 自分の動画から課題を見付け、それに合った練習をする力
- 友達の動きを見て、アドバイスできる力

○個別最適な学びへ向けた工夫

① 動画を活用した振り返り (Google スライド、form)



①	単元全体の見通しをもたせ、振り返りを行いやすいように、毎時間のシートを分けて作成した。
②	毎時間撮影した動画を貼り付け、技能の上達を実感でき、課題の分析をしやすいようにした。(下のイラストと同じ向きになるように撮影し、比較しやすいようにした。)
③	イラストと本時のめあてとなる部分を提示し、ポイントを意識しやすいようにした。
④	振り返りは、3項目に分けた。特に、「自分のイメージや意識したこと」と「実際の動き」がどれくらい一致しているかに注目させ記入できるようにした。
⑤	形成的評価のアンケートのリンクを貼り付け、スムーズに回答できるようにした。

②自分の課題に合わせた練習方法の選択肢の提示

課題	三点倒立ができない…	体が反れず、 台上前転になってしまう	はねのタイミングが合わない、わからない…
練習方法	<input type="checkbox"/> マットで三点倒立 <input type="checkbox"/> 跳び箱で三点倒立	<input type="checkbox"/> ②③三点倒立→ブリッジ <input type="checkbox"/> 背倒立→ブリッジ	<input type="checkbox"/> 背倒立→ブリッジ <input type="checkbox"/> ④三点倒立→頭はね跳び <input type="checkbox"/> ステージから頭はね跳び

※感…感覚づくりの運動

②～④…第2～4時までの練習